

未来の多久市みつけや か ドローン羽ける空の道

ドローンが飛ぶ「空の道」整備に、民間企業と取り組む市民団体「多久市まちづくり協議会かつやく隊」。今回の特集では、多久市まちづくり協議会かつやく隊が描くドローンを活用した便利で新しい多久市の未来に注目します。



「高齢化や後継者不足、物流分野での人材不足といった多久市が抱える地域課題を解決するために、『空の道』整備とドローン活用を決意しました」と語る

足当初から活動し、現在は同協議会かつやく隊の隊長を務める笹川さん。一昨年に足を運んだ、株式会社トルビズオン（本社：福岡市）の増本衛代表の講演会で、地権者が所有する上空の使用権を共有して空の道を作れるサービス「*sōra share*」に出合いました。

笹川さん。その日のうちに増本代表へ連絡を取り、昨年4月から毎週オンライン会議で話し合いを重ね、わずか2ヶ月後の6月には、多久市に空の道を生み出すためのプロジェクトを多久市まちづくり協議会かつやく隊でスタートさせます。



▲ 多久市まちづくり協議会かつやく隊のみなさん

空からの“まちづくり”

期待を受け、全速力で整備

多久市まちづくり協議会かつやく隊は、多久市内の「ソラシェア」への土地登録者を増やすべく、まずは笹川工建株が所有・

各町の区長会議では、みんなからご理解をいただけたのはもちろん「やってみたらよかよ」と温かい応援も。多久市はこうした新たなことへの挑戦がしやすい土地柄だと改めて実感されたそうです。

本格始動から1か月後の7月に、多久市と（株）トルビズオンが地方創生連携協定を締結したことで、空の道の整備がさらに加速。昨年10月には、最初の空の道として、西多久多目的運動広場から船山キャンプ場（西多久町）へ食材を届ける道が完成し、



ささがわ
笹川
しゅんいち
俊一さん

多久市まちづくり協議会かつやく隊の隊長として、生まれ育った多久市の活性化に尽力。笹川工建株式会社取締役。